

教科名	地歴		学年	2年	教科書 補助教材 等	詳説世界史B（山川出版社） 世界史詳覧（浜島書店） ウィニングコンパス（東京法令出版）
科目名	世界史B		単位数	4		
科目担当者	堀 大輝					
科目の到達目標	世界の歴史を、古代から中世まで地図や年表、映像や音声などさまざまな資料を用いて理解させる。その際折に触れて日本の歴史とも関連付けながら、人類の発展について歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を身につけ歴史を大観させる。					
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考
一学期	4	先史の世界 オリエントと地中海世界	人類の進化・文明の始まり 古代オリエント世界		12	
	5	オリエントと地中海世界	ギリシア世界 ローマ世界①		14	
	6	オリエントと地中海世界 アジア・アフリカの古代文明	ローマ世界②、インドの古典文明、 東南アジアの諸文明、 中国の古典文明①		18	
	7	アジア・アフリカの古代文明	中国の古典文明②		8	
二学期	9	アジア・アフリカの古代文明 内陸アジア世界・東アジア世界	南北アメリカ文明、草原の遊牧民と オアシスの定住民、北方民族の活動 と中国の分裂、東アジア文化圏の形成		14	
	10	イスラーム世界の形成と発展	イスラーム世界の形成と発展、インド・ 東南アジア・アフリカのイスラーム化・ イスラーム文明の発展		16	
	11	ヨーロッパ世界の形成と発展	西ヨーロッパ世界の成立、東ヨーロッパ 世界の成立、西ヨーロッパ世界の変容		12	
	12	ヨーロッパ世界の形成と発展	西ヨーロッパの中世文化		10	
三学期	1	東アジア世界・東アジア世界の動向	トルコ化とイスラーム化の進展、東 アジア諸地域の自立化、東アジア世界 の動向		14	
	2	アジア諸地域の繁栄	清代の中国と隣接諸地域、トルコ・ イラン世界の展開		14	
	3	アジア諸地域の繁栄	ムガル帝国の興隆と東南アジア交易 の発展		8	
年間授業 時間数計	140		1学期 52	2学期 52	3学期 36	
学習上の留意点	各文化圏の地理的な特徴を復習しつつ、歴史発展の共通性と地域的特色を理解させるようにする。それ以前の歴史との関連性を考察させる。					
評価の観点					評価方法	
関心・意欲・態度	歴史への関心を持ち、現代社会との関わりについて考察し探究しようとする。				授業態度 発問評価 定期考査	
思考・判断・表現	現代社会の課題における歴史的背景を見出し、研究する過程を通して公正かつ客観的に判断する力を育てる。					
資料活用の技能	探究心を持ち調査研究する能力を備えている。					
知識・理解	基本事項を理解し事項を関連付けて考察する力を備えている。					